

第54回 西日本生産性会議2026（神戸開催）

「明るい未来を拓く 労使の挑戦」

～生産性運動70年の
SHINKA（真価・深化・進化）～

2026年7月29日（水）13:30～18:30

と き

7月30日（木）10:00～15:20

ところ

神戸ポートピアホテル 南館1階 「大輪田」

兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目10-1

主 催

中部生産性本部、中国生産性本部、四国生産性本部
九州生産性本部、関西生産性本部

協 賛

日本生産性本部、全国労働組合生産性会議

後 援

近畿経済産業局、兵庫県、神戸市、連合近畿地方ブロック連絡会

ご案内

人口減少、デジタル化の進展、働き方の多様化など、わが国の企業と労働者を取り巻く環境は大きく変化しており、日本経済、企業経営、労使関係にも大きく影響を及ぼしています。このような激変する社会経済の中で、AIやDXの活用、ダイバーシティ&インクルージョンの推進、キャリア自律の支援といった、多様性に応じ、生産性向上に取り組む動きが必要となってきます。

また、社会の変化が大きく、生産性向上に取り組むべき、今の時代だからこそ、私たちは生産性運動の真の価値を改めて見つめなおし、生産性向上に向けた取り組みを深く掘り下げ、新たな時代にふさわしい形へと発展、進化させていくことが求められています。

西日本地域の5つの生産性本部（中部・中国・四国・九州・関西）は1973年以来「西日本生産性会議」を開催し、労使の共通課題について具体的な行動の方向性を探ってまいりました。

第54回を迎える今回は、「明るい未来を拓く労使の挑戦～生産性運動70年のSHINKA（真価・深化・進化）～」を統一テーマとして、関西地区神戸市にて開催いたします。

西日本地域の生産性運動に携わる方々が一堂に会し、それぞれの立場から日ごろ培った貴重な経験をご交換いただき、明るい未来を拓く新たな生産性運動の発展と実践に役立つ会議に致したく存じます。

ご多忙の折とは存じますが、ご関係者お誘いあわせの上、多数のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

中部生産性本部	会長	石 黒 武
中国生産性本部	会長	中 川 賢 剛
四国生産性本部	会長	宮 本 喜 弘
九州生産性本部	会長	道 永 幸 典
関西生産性本部	会長	大 坪 清

第54回 西日本生産性会議2026 全体プログラム

1日目 2026年7月29日(水) 13:30～18:30

13:30～13:40 開会挨拶 関西生産性本部 会長

13:40～13:50 来賓挨拶 日本生産性本部 会長

13:50～15:50 基調討議

「明るい未来を拓く労使の挑戦」

～生産性運動70年のSHINKA(真価・深化・進化)～

パネリスト (株)村田製作所 上席執行役員 管理本部 本部長
(※2026年7月常務執行役員就任予定)

日本労働組合総連合会 会長

パネリスト兼コーディネータ

早稲田大学 法学学術院 教授

〈座長〉 九州生産性本部 会長

15:50～16:10 休憩

16:10～17:10 特別講演

「知の挑戦 ～学術で未来を創る～」

京都大学 理事・副学長・特別教授
2025年ノーベル化学賞 受賞

17:30～18:30 参加者交流パーティ

おお 大 坪 清
(レンゴー(株) 代表取締役会長兼CEO)

こ 小 林 喜 光

と い たか のり 戸 井 孝 則 氏

よし の とも こ 芳 野 友 子 氏

みず まち ゆういちろう 水 町 勇一郎 氏
みち なか ゆき のり 道 永 幸 典

(西部ガスホールディングス(株) 代表取締役会長)

きた がわ すすむ 北 川 進 氏

2日目 2026年7月30日(木) 10:00～15:20

10:00～12:10 第1討議 「個々の“らしさ”を鍵とした多様性と共感を実現する組織づくり・ヒトづくり」

パネリスト 旭化成(株) 執行役員 人事部長
アストラゼネカ(株) 人事本部
I&D Accelerating Office Lead
不二家労働組合 特別執行委員

コーディネータ 法政大学 キャリアデザイン学部 教授

〈座長〉 四国生産性本部 会長

うち ずみ ひろ し 内 炭 広 志 氏
しお ざき けん や 塩 崎 研 弥 氏
い で よし てる 井 出 佳 輝 氏
さか づめ ひろ み 坂 爪 洋 美 氏
みや もと よし ひろ 宮 本 喜 弘

(四国電力(株) 取締役社長社長執行役員)

12:10～13:00 昼食

13:00～15:10 第2討議 「未来志向で価値創造する独自経営 ～熱意あふれる経営トップの思い」

パネリスト チャリチャリ(株) 代表取締役社長
(株)広沢自動車学校 代表取締役
ミツフジ(株) 代表取締役社長

コーディネータ 神戸大学大学院 経営学研究科 教授

〈座長〉 中国生産性本部 会長

いえ もと けん たろう 家 本 賢太郎 氏
そ がわ し ろう 祖 川 嗣 朗 氏
み てら あゆむ 三 寺 歩 氏
よし むら のり ひさ 吉 村 典 久 氏
なか がわ けん 中 川 賢 剛

(中国電力(株) 代表取締役社長執行役員)

15:10～15:20 閉会挨拶 中部生産性本部(次年度開催本部) 会長

いし ぐろ たけし 石 黒 武
(大同特殊鋼(株) 代表取締役会長)

1日目 7月29日(木) 13:30～18:30

13:30～13:40

開会挨拶

関西生産性本部 会長

おお 大 坪 清
(レンゴー(株) 代表取締役会長 兼 CEO)

13:40～13:50

来賓挨拶

日本生産性本部 会長

こ 小 林 喜 光
こ ばやし よし みつ

13:50～15:30

基調討議

座長 九州生産性本部 会長

みち 道 永 幸 典
(西部ガスホールディングス(株) 代表取締役会長)
な が ゆき のり

「明るい未来を拓く労使の挑戦」

～生産性運動70年のSHINKA(真価・深化・進化)～

我が国では、少子高齢化や労働力不足、デジタル化の進展、グローバル競争の激化といった課題に取り組むために、協調的な労使関係の構築と新たな付加価値の創出が必要不可欠となります。これらの課題に対し、DX・AIや人材投資の推進等を通じた生産性向上の具体的方策を検討し、労使の持続的成長に向けた取り組みを実施する必要がある、それが、多様な人材が活躍できる包摂的な社会の実現と、生産性向上を両立させることに繋がります。本討議では、「明るい未来を拓く労使の挑戦」をテーマに、日本を代表する経営者、労働組合幹部、有識者がそれぞれの立場から、生産性向上と明るい未来の日本経済の成長に向けた具体的な取り組みについて議論します。

パネリスト

(株)村田製作所 上席執行役員 管理本部 本部長
(※2026年7月常務執行役員就任予定)

と い たか のり
戸 井 孝 則 氏



1987年3月同志社大学工学部化学工学科卒業。1987年4月株式会社村田製作所入社。薄膜微細加工技術開発に従事した後、2012年7月モジュール事業本部技術統括部薄膜技術部部長として、SAWデバイス、MEMSセンサなど薄膜商品の開発を担当。2018年4月同統括部ネットワーク技術開発部部長を兼務。2019年4月企画管理本部人事グループ統括部長、2025年7月から現職。2026年7月常務執行役員（就任予定）

日本労働組合総連合会 会長

よし の とも こ
芳 野 友 子 氏



1988年JUKI労働組合中央執行委員から組合役員としての活動を始める。2010年にJUKI労働組合中央執行委員長に就任、2015年8月には、ものづくり産業労働組合JAM副会長、同年10月日本労働組合総連合会(連合)副会長を経て、2021年10月に女性初の連合会長に就任。

パネリスト兼コーディネータ



早稲田大学 法学学術院 教授

みず まち ゆういちろう
水 町 勇一郎氏

早稲田大学法学学術院教授。1990年東京大学法学部卒業。東京大学法学部助手、東北大学法学部助教授、ニューヨーク大学ロースクール客員研究員、パリ・ナンテル大学客員教授、東京大学社会科学研究所准教授・教授を経て、2024年4月から現職。働き方改革実現会議議員、規制改革推進会議働き方・人への投資WG専門委員、厚生労働省労働基準法における労働者に関する研究会構成員、内閣官房新しい資本主義実現会議三位一体労働市場改革分科会委員、総務省社会の変革に対応した地方公務員制度のあり方に関する検討会委員、消費者庁公益通報者保護制度検討会委員、東京都労働委員会公益委員（会長代理）などを歴任。主な著書に、『パートタイム労働の法律政策』（有斐閣、1997）、『労働社会の変容と再生—フランス労働法制の歴史と理論』（有斐閣、2001）、『集団の再生—アメリカ労働法制の歴史と理論』（有斐閣、2005）、『労働法入門（新版）』（岩波書店、2019）、『働くこと』大全（KADOKAWA、2025）、『詳解 労働法（第4版）』（東京大学出版会、2025）、『労働法（第11版）』（有斐閣、2026）、『同一労働同一賃金のすべて（第3版）』（有斐閣、2026）、などがある。

15:50 ~ 16:10 休 憩

16:10 ~ 17:10 特別講演

「知の挑戦 ～学術で未来を創る～」

北川氏は「多孔性金属錯体(MOF)の開発」を行い、ノーベル化学賞を受賞されました。今回開発された多孔性材料は、無機・錯体化学や、エネルギー、環境、生命などの問題に対し、化学が解決するために取り組む新領域の開拓を先導し、地球環境の未来に大きく貢献できるものであると期待されております。本講演では、多孔性金属錯体(MOF)の社会や地球環境への応用や可能性と共に、北川氏の基礎研究の重要性、科学技術振興への考えや夢の実現へ向けた大切なことをお話いただきます。



京都大学 理事・副学長・特別教授 2025年ノーベル化学賞 受賞

きた がわ すすむ
北 川 進氏

京都市出身。1974年京都大工学部石油化学科卒業。1979年同工学研究科博士課程修了。近畿大理工学部助手、助教授を経て、1992年に東京都立大理学部教授。1998年に京大工学研究科教授、2013年に京都大学物質—細胞統合システム拠点拠点長に就任。2017年から京都大学特別教授。2024年4月から京都大学理事・副学長、2025年1月から京都大学 総合研究推進本部長に就任。2009年に日本化学会賞、2011年に紫綬褒章、京都新聞大賞文化学術賞、2013年に江崎玲於奈賞、2016年に日本学士院賞、2025年に京都府文化賞特別功労賞、等を受賞。

17:30 ~ 18:30 参加者交流パーティ

2日目 7月30日 (木) 10:00～15:20

10:00 ～ 12:10

第1 討議

座長 四国生産性本部 会長

みやもと よし ひろ
宮 本 喜 弘
(四国電力(株) 取締役社長社長執行役員)

「個々の“らしさ”を鍵とした多様性と共感を実現する組織づくり・ヒトづくり」

人口減少や働き方に対する考え方の多様化が進む日本では、今後、一人ひとりの個性や強みを尊重し、それを組織の力へと転換することが、必要となってきます。具体的には、ダイバーシティ&インクルージョンの推進や、自律的なキャリア形成支援等、個人と組織の相互成長を実現させる取り組みが重要となります。本討議では、労使の立場より、組織づくり・ヒトづくりの具体的な事例をお話いただくと共に、今後の労使に求められる役割について討議いたします。

パネリスト



旭化成(株) 執行役員 人事部長

うち ずみ ひろ し
内 炭 広 志 氏

1989年京都大学法学部卒業後、旭化成株式会社に入社。以降、一貫して人事関連の仕事でキャリアを積む。2020年6月から、人材サービス業を担う子会社である旭化成アマダス株式会社代表取締役社長。2023年4月より旭化成株式会社上席理事人事部長。2024年4月より現職。



アストラゼネカ(株) 人事本部 I&D Accelerating Office Lead

しお ざき けん や
塩 崎 研 弥 氏

国内外の製薬企業においてHRとして20年以上の経験を有し、工場部門や営業部門をはじめとする多様な事業領域で組織・人材マネジメントに従事してきた。現在は、I&D Accelerating Office Lead 兼 Senior HRBP として、ダイバーシティ&インクルージョンの推進、組織開発、リーダー育成を通じた組織変革に取り組んでいる。



不二家労働組合 特別執行委員

い で よし てる
井 出 佳 輝 氏

2007年に株式会社不二家へ入社。菓子の品質管理・製品開発に従事する一方、労働組合活動にも取り組む。2013年から8年間、本部副書記長・書記長として専従を経験。2021年からは再び開発業務と兼務で中央副委員長・委員長を務めた。従来の慣行や職場の壁に向き合い、多様な声が生かされる環境づくりを実践。2024年よりフード連合労働政策局にて従事。

コーディネータ



法政大学 キャリアデザイン学部 教授

さか づめ ひろ み
坂 爪 洋 美 氏

民間の人材紹介業勤務後、慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程単位取得退学。博士（経営学）。和光大学を経て、2015年4月より現職。専門と関心領域は、人的資源管理・組織行動論。近著に『シリーズダイバーシティ経営 管理職の役割』（中央経済社、2020年、共著）など。経済社会情勢の変化に対応したキャリアコンサルティングの実現に関する研究会座長。

12:10 ～ 13:00

昼 食・休 憩

13:00 ~ 15:10

第2討議

座長 中国生産性本部 会長

なか がわ けん ごう
中 川 賢 剛
(中国電力(株) 代表取締役社長執行役員)

「未来志向で価値創造する独自経営 ～熱意あふれる経営トップの思い～」

社会変化の激しい昨今においても、地域に基盤を置き、独自の視点で産業と人材の活性化と組織の価値創造力を高め、成長を続けている企業が多くみられます。本討議では、そのような経営トップをお招きし、自らの強い信念と熱意、経営に対する独自戦略についてお話しいただき、未来に向けて、社会に新たな価値を提供し続け、企業を活性化させる方策について考えていきます。

パネリスト



チャリチャリ(株) 代表取締役社長

いえ もと けん たろう
家 本 賢太郎氏

1981年生まれ。15歳でクララオンライン(現:クララ)を創業。2019年当社代表取締役社長就任。14歳のころに受けた脳腫瘍の摘出手術をきっかけに車いす生活になるが、奇跡的に両足の運動神経が回復。車椅子無しでの生活が可能に。米Newsweek誌「21世紀のリーダー100人」等に応じられる。

■企業概要■ 【事業内容】シェアサイクルサービス「チャリチャリ」の企画・運営

【沿革】2018年2月にメルカリグループが福岡市で開始した「メルチャリ」からスタートし、同年6月には福岡市と連携し、「福岡スマートシェアサイクル実証実験事業」を開始するなど、都市型モビリティサービスとしての基盤を構築。2019年7月には、(株)ソウゾウ(メルカリグループ)からの新設分割により、シェアサイクル事業を担う新会社として設立。2020年4月にサービスブランド名を「メルチャリ」から「チャリチャリ」へ変更。2024年4月には、社名を「neuet(株)」から「チャリチャリ(株)」へ変更し、サービスブランドと企業名を統一。2025年には、京都の老舗自転車店「きゅうべえ」が運営するシェアサイクル事業「kotobike」を承継し、2026年には同エリアを「チャリチャリ」ブランドへ統合し、関西エリアでの本格展開を開始。



(株)広沢自動車学校 代表取締役

そ がわ し ろう
祖 川 嗣 朗氏

株式会社広沢自動車学校および株式会社シンク・スリー代表取締役社長。自動車教習事業を基盤に、教育の高度化と組織の生産性向上を推進。デジタル活用や人材育成を通じ、地域社会への価値創出と企業改革に取り組む。

■企業概要■ 【事業内容】自動車教習所運営、ドローンスクール運営、交通安全教育事業、動画制作・人材育成事業

【沿革】1963年7月に徳島県徳島市で設立、徳島県公安委員会指定の自動車教習所として事業を開始。創業以来、地域に根ざした交通安全教育を展開し、初心運転者教育を中心に事業を発展。2017年には、教育・広報・採用支援を目的として(株)シンク・スリーを設立し、2018年には「広沢ドローンスクール」を開校し、自動車教習事業に加えてドローン教育やVR交通安全教育、プログラミング教育など新たな分野へ事業領域を拡大。2020年には祖川嗣朗氏が代表取締役社長に就任し、動画を活用した教育改革や顧客との関係構築を強化。同年、交通安全教育や卒業後も継続する顧客支援の取り組みが評価され、「消費者志向経営優良事例表彰」において内閣府特命担当大臣表彰を受賞。2025年には、ベトナムの現地教習所グループと連携し、日本式運転教育の海外展開を開始。2026年には、初心運転者事故防止に向けた長年の交通安全教育活動が評価され、全日本指定自動車教習所協会連合会より表彰。



ミツフジ(株) 代表取締役社長

み てら あゆむ
三 寺 歩氏

「松下電器産業(現パナソニック)、シスコシステムズ、SAPジャパンなどを経て、2014年に三ツ富士繊維工業(現ミツフジ)に入社、代表取締役社長に就任。廃業寸前から自社開発の銀めっき導電性繊維に特化したビジネスモデルへと舵を切り、ウェアラブルIoT事業に転換した取組みが評価され、2018年「第1回Forbes JAPAN "SMALL GIANTS AWARD"」グランプリ、2021年度「京都創造者賞」、2026年「経済界Golden Pitch 2025」グランプリを受賞。現在では同繊維の特徴を生かした素材開発とウェアラブル製品開発に注力し、さまざまな社会課題の解決に向けた製品開発に取り組む。」

■企業概要■ 【事業内容】銀めっき導電性繊維「AGposs®」、ウェアラブルIoT「hamon®」、医療機器、猛暑対策製品「hamon band」シリーズ等の開発・製造・販売

【沿革】1956年に京都で西陣帯工場として創業し、1979年に「三ツ富士繊維工業(株)」として法人化され、繊維製造企業としての基盤築く。1999年には医療分野に関連する「心臓ペースメーカー防護服」を学会で発表し、先端技術の応用領域を拡大するとともに、2002年には銀めっき導電性繊維のブランド「AGposs®」を商標登録し、2008年には「AGposs®」が国際宇宙ステーションで宇宙飛行士用衣料素材として採用。2015年には社名を現在の「ミツフジ(株)」に変更し、繊維メーカーからウェアラブルIoT企業へ転換。2017年には米国のCESに出展し、東京本社およびショールームも開設。2019年にはG20大阪サミットで「hamon®」を展示し、健康経営やメンタルヘルス分野への応用を拡大。2020年には新型コロナウイルス感染症対策として高機能衛生マスク「hamon AG マスク」を発売し、2022年にはLTE通信対応スマートウォッチ「MITSUFUJI 03」を展開し、ウェアラブル領域の製品ラインアップを拡充。

コーディネータ



神戸大学大学院 経営学研究科 教授

よし むら のり ひさ
吉 村 典 久氏

神戸大学大学院経営学研究科 教授（和歌山大学 名誉教授）神戸大学大学院経営学研究科修士課程修了、和歌山大学経済学部教授、City University, London（City St George's, University of London）、Cass Business School（Bayes Business School）客員研究員、大阪市立大学（現大阪公立大学）大学院経営学研究科教授、関西学院大学大学院経営戦略研究科教授等を経て、2025年10月から現職。博士（経営学）。関西生産性本部理事・「関西経営品質賞」判定委員会委員。主な著書として、『スピノフの経営学－子が親を超える新規事業はいかに生まれたか』（ミネルヴァ書房、2023年）、『会社を支配するのは誰か－日本の企業統治』（講談社、2012年）、『部長の経営学』（筑摩書房、2008年）、『日本の企業統治－神話と実態』（2007年、NTT出版）など。

15:10 ～ 15:20

閉会挨拶

中部生産性本部 会長

いし ぐろ たけし
石 黒 武
(大同特殊鋼㈱ 代表取締役会長)

個人情報の取扱いについて

- 1.参加申込によりご提供いただいた個人情報は、各本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、各本部ホームページをご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込いただきますようお願いいたします。
- 2.個人情報の開示、訂正、削除については、窓口までお問合せください。
- 3.本案内記載事項の無断転載をお断りします。

申込案内

■と き

2026年7月29日(水)・30日(木)

■と ころ

神戸ポートピアホテル 南館1階 「大輪田」

〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目10-1 TEL: 078-302-1111

■参加対象者

経営トップ、経営幹部、労働組合幹部、学識経験者、関係官公庁幹部

■参加申込方法

- ご参加のお申込は、関西生産性本部のホームページ
(<https://www.kpcnet.or.jp>)よりWebにてお申し込みください。

Web申し込み方法は次ページを参照願います。

【申込期限：7月15日(水)】

お申込み受付後、参加費請求書をご送付いたします。

※お申込みの後の変更・取り消しは上記ホームページからお願い致します。

※7月22日(水)以降の取消につきましては参加費の払戻しは致しかねますので、代理の方のご参加をお願い致します。

■参 加 費

- 経営側単独でのご参加 1人につき 62,700円(税込)
- 労働側単独でのご参加 1人につき 38,500円(税込)
- 労使ペアでのご参加 1組につき 95,700円(税込)

※いずれも参加者交流パーティ代、2日目昼食代を含みます。

※労使ペアでお申込みの場合、ペアにならなかった人数分は、単独の各規定料金を適用いたします。

※労使ペアの場合、参加申込書でご指示が無い場合、以下のとおりに振り分けて請求させていただきます。

・経営側 59,400円 労働側 36,300円

■そ の 他

- 会議資料につきましては、1週間前を目途にダウンロードページをメールでご案内いたします。
- 登壇者の都合などにより、日程・時間・内容並びに開催形態の変更をさせていただく場合がございますので、予めご了承ください。
- 講演の録画、録音、会議資料記載事項の無断転載を固くお断りいたします。

■お 問 合 先

関西生産性本部 西日本生産性会議 担当：芝原・松尾・安丸

〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル28階

TEL 06-6444-6464 FAX 06-6444-6450

【中部地区】 中部生産性本部 担当：吉村、羽広
TEL (052) 221-1261 FAX (052) 221-1265

【中国地区】 中国生産性本部 担当：圓山、衣笠
TEL (082) 242-7972 FAX (082) 242-7973

【四国地区】 四国生産性本部 担当：篠原、長谷川
TEL (087) 887-0512 FAX (087) 851-4270

【九州地区】 九州生産性本部 担当：中尾、松田
TEL (092) 771-6481 FAX (092) 771-6490

会場案内

神戸ポートピアホテル

〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目10-1 TEL:078-302-1111

ポートピアホテルへのアクセス

交通のご案内



交通アクセス

新幹線 新神戸駅	シャトルバス 約30分 タクシー 約20分	
阪急 大阪梅田駅	神戸市営地下鉄 2分 特急 27分	各線神戸三宮三宮駅
阪神 大阪梅田駅	直通特急 31分	ポーターライナー三宮駅
JR 大阪駅	新快速 20分/快速 27分	徒歩 10分
大阪国際(伊丹)空港	リムジンバス 約40分	ポーターライナー市民広電駅
関西国際空港	リムジンバス(直行便) 約65分 関空・神戸ベイシャトル 約30分	徒歩 8分
神戸空港	徒歩 タクシー 約8分	ポーターライナー神戸空港駅

シャトルバスのご案内

無料送迎シャトルバス
(ホテル ⇄ 三宮 ⇄ 新神戸)

時刻表はこちら↓



■新神戸: [新幹線 新神戸駅] 1階
■三宮: ミント神戸ビル1階8番のりば
※交通事情により、発着時間が遅れることがあります。
※シャトルバスの座席は予約制ではありません。
先着順となります。

シャトルバスのりば

〈新幹線 新神戸駅〉



〈JR三宮駅(南)〉



■定員を越える場合はご乗車いただけません。
■三宮の降車場所はのりばとは異なります。
※駅周辺再開発工事に伴い、バスののりばへの導線等変更になる場合があります。

Tel. 078-302-1111 (代表)

神戸ポートピアホテル

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6丁目10-1

WEB 申込方法

西日本生産性会議のお申し込みは、WEBにより受付させていただきます。

関西生産性本部のHP (www.kpcnet.or.jp) にアクセス



お申込みはこちら

連絡担当者（申込窓口）のメールアドレスを入力し、送信してください

「お申込情報入力ページ URL」を記載したメールが自動で届きます

「参加申込フォーム」へ入力してください

◆機関情報の入力

- ・経営単独は①「会社情報」
- ・労働組合側単独は②「労働組合情報」
- ・経営側、労働組合側、同時お申込（労使ペア）の場合は①②両方へ

会社情報

労働組合情報



◆参加者情報入力

経営側、労働組合側とも共通フォームです

「お申込完了メール」が自動で届きます

「お申込完了メール」の記載内容

- ◆申込内容
- ◆マイページログイン URL
- ◆マイページログイン初期パスワード
- ◆参加証 URL など

「参加証」を印刷
当日、受付へ提出してください

「お申込完了メール」に記載された URL またはマイページより参加証がダウンロードできます
スマートフォンなどで画面を提示していただいても構いません。

関西生産性株式会社 代表取締役社長 関西 太郎 様	参加証 No. 123456 
参 加 証	
この度は、「西日本生産性会議2018」へお申込をいただき、誠にありがとうございます。 当日は、本参加証を受付にご提出ください。	
【事業名】	西日本生産性会議2018
【と き】	2018年7月26日(木) 13:30~19:00 27日(金) 9:30~16:10
【ところ】	神戸ポートピアホテル 南館1階 大輪田の間 神戸市中央区港島中町4-10-1 TEL 078-302-1111

※WEB 申込みは、四国生産性本部のシステムを利用して
おります。

お申込み内容の確認・変更は
マイページからお願いいたします !!

- ◆連絡担当者は、マイページにログインして、
申込み内容の確認や参加者の変更などができます



セキュリティ等で WEB 申込みができない場合は
関西生産性本部 西日本生産性会議 事務局 (TEL 06-6444-6464) までお問合せ下さい。

生産性運動に関する三原則

● 雇用の維持・拡大

生産性の向上は、究極において雇用を増大するものであるが、過渡的な過剰人員に対しては、国民経済的観点に立って能う限り配置転換その他により、失業を防止するよう官民協力して適切な措置を講ずるものとする。

● 労使の協力と協議

生産性向上のための具体的な方法については、各企業の実情に即し、労使が協力してこれを研究し、協議するものとする。

● 成果の公正配分

生産性向上の諸成果は、経営者、労働者および消費者に、国民経済の実情に応じて公正に分配されるものとする。